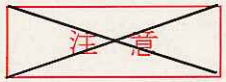


28．11．191800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７７０号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
　(1)　情　勢
　(2)　本日の活動成果
　(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
　(1) 本日の成果
　　活動概要
　(2) 明日の活動
　　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
　(1)　気　象
　(2)　暫定政府樹立までの主要結節
　(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　　日本隊に及ぼす影響
　(4)　部隊配置状況
　(5)　タスク現況
　(6)　警備の態勢

1　本文（要約）

凡例　赤字：変化事項

1　情　勢

(1)　全　域

ア　衝突解決合意関連

衝突解決合意は、キール大統領が９月３０日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示しているものの、米国連大使が安保理において提案した、南スーダンに対する武器禁輸及びターゲット制裁に関し、南スーダン政府高官が反対姿勢をしめしており、今後の動向には注視が必要

一方、南スーダン国内外における両勢力からの離反に関する動きは停滞しているものの、マシャル第１副大統領派がキール政権に対する抵抗及びジュバ帰還への意思を示したことや、キール大統領がコンゴに所在する反主流派（マシャル派）戦闘員に対する恩赦を表明したことから、両勢力の動向には注視が必要

また、緊張状態が継続する北部へのオロニー中将の帰還の動きが見られるとともに、反主流派（マシャル派）からのＵＮＭＩＳＳに対する強い不信感が示されており、北部におけるオロニー中将の動向及び全国的な反ＵＮ感情の波及には注視が必要

イ　その他の情報資料

キール大統領は近隣諸国からの地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ、国際社会もケニア政府にＵＮＭＩＳＳからの撤退の見直しを求めている事から、ケニア政府の動向には注視が必要

しかしながら、ケニアがＵＮＭＩＳＳからの一部の部隊をすでに撤退させていることから、歩兵部隊の再展開及び地域保護部隊への差出国の協議には時間を要するものと思料され、併せてＵＮＭＩＳＳのプレゼンスが減少することによるワウ及びジュバにおける治安状況の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での他部族への悪感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、新たなキール政権への抵抗を示す武装集団の台頭や西エクアトリアにおいて暫定政府に対する攻撃が活発化する等、その動向には注視が必要

凡例　赤字：変化事項

(2)　ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イェイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態及びエクアトリアー帯での武装集団による襲撃事案は継続するとともに、ディンカ族と他部族との緊張状態も生起しており、部族間の対立の大規模な衝突への発展には注視が必要

また、郊外へ至る経路上ではＳＯＦＡ違反が継続しているが、ＵＮＭＩＳＳに対する攻撃や強盗は確認されておらず、そのプレゼンスの発揮は地域の治安の安定に有効であるものと思料

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間の集会等禁止令が下令されており、夜間の不安定な治安状態は継続

また、市内では、米国による安保理への制裁に関する提案に関連する、反ＵＮ、反米国デモ及びＳＯＦＡ違反発生の可能性は否定できず注視が必要

ＵＮハウス周辺では、非武装地域の設定後から発砲事案は減少傾向にあるものの、依然として昼間の発砲音が確認されるとともに、ＩＤＰとＵＮＭＩＳＳの間で小競合いが発生する等、引き続き些細な変化に注意が必要

(4)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては昼間における射撃やＩＤＰの不正なＰＯＣサイトへの侵入が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、ＵＮＭＩＳＳ部隊や地元民が通常通りの活動を実施しているものの、引き続き注視が必要

２　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動及び人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮトンピン地区退避壕構築を実施するとともに、孤児院慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。

また、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図るとともに、第１１次要員の受け入れ準備を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動（成果：４ｔ）

イ　人道支援実施のための環境作り等

ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

ｂ　情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

ａ　本部付隊をもって、宿営地管理業務

ｂ　各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

(エ)　教育訓練等
　　な　し
(オ)　民生協力
　　な　し
(カ)　隊長による、ジュバ市内ＨＯＨ（Home of Hope）孤児院慰問視察
(キ)　隊本部等をもって、ジュバ市内ＨＯＨ孤児院慰問
(ク)　隊本部等をもって、ジュバ市内における現地調達業務
(ケ)　先発隊をもって、日本隊宿営地から東千歳駐屯地への前進

エ　表敬等
　　な　し

オ　各種行事等
　　な　し

カ　国際機関等連携案件
　　な　し

3　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

また、第１１次要員の受け入れ態勢を確立する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

な　し

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

ｂ　情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

(ｲ)　業務調整

隊本部をもって、ＵＮハウス地区内における輸送調整業務

(ｳ)　宿営地内活動

ａ　本部付隊をもって、宿営地管理業務

ｂ　各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊本部をもって、ＵＮトンピン地区内におけるＵＮマイクロバスの借用

エ　表敬等

　　な　し

オ　各種行事等

　　な　し

カ　国際機関等連携案件

　　な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

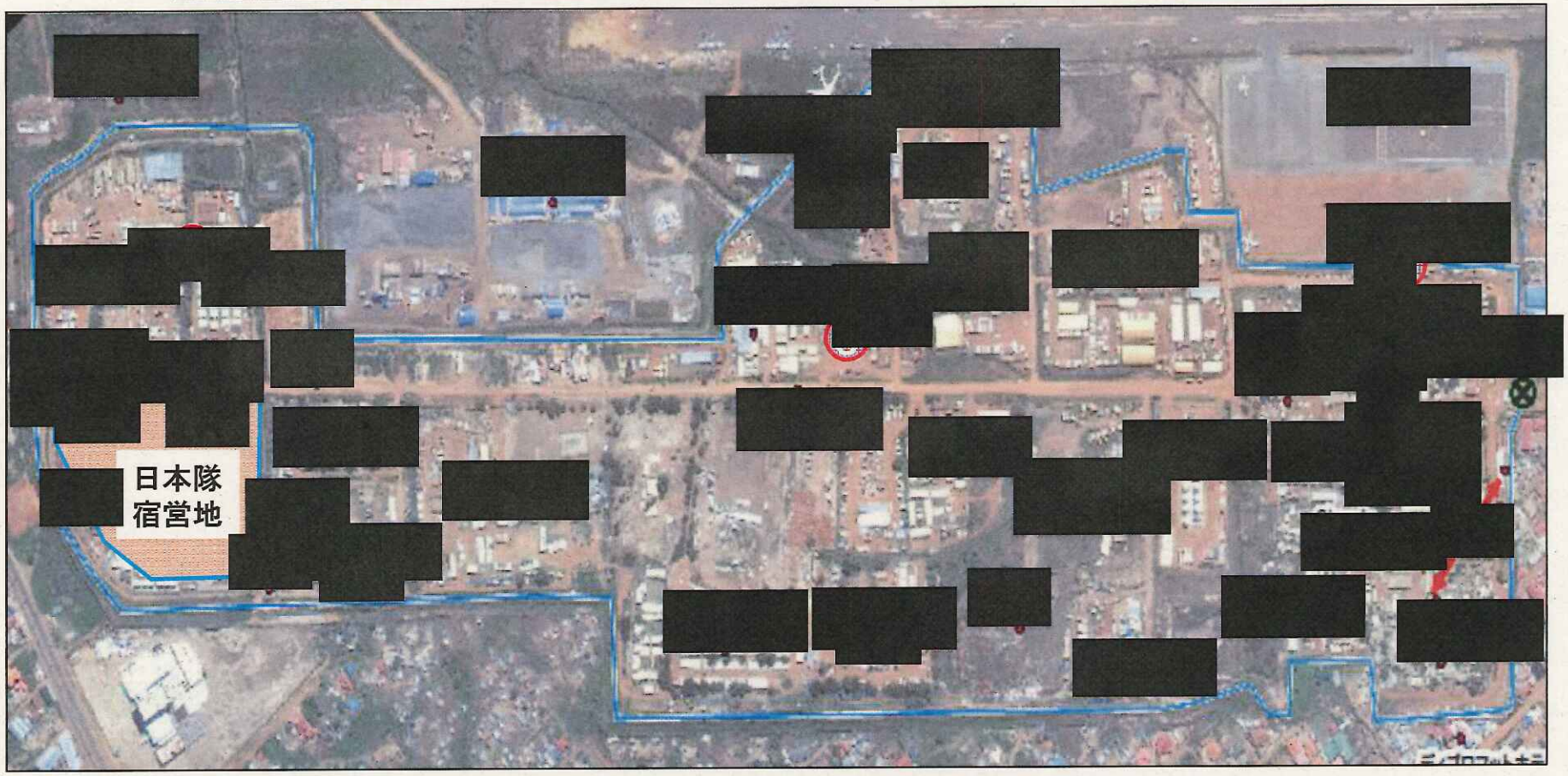
活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区退避壕構築	器材小隊	０８００～１２００	ＵＮトンピン内	１０	中型×1、油圧×1 ロードローラ×1、小型×1 クレーン×1、大型ダンプ×1	[redacted]
②	その他	給　水	補給班	０８００～０９００	トランジット	２	給水車×1	
③	その他	給　水	補給班	０９００～１０００	インド歩兵大隊	２	給水車×1	
④		業務調整（輸送）	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１２００	ＭＯＶＣＯＮ	３	小型×1	
⑤		広報活動	広報班	０８００～１２００	ＵＮトンピン内	２	小型×1	
⑥		業務調整	隊本部（Ｓ－１） 警護班 整備班	０７２０～１２００	ルワンダ航空隊	[redacted]		

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



⑤	広報活動

活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

ＵＮハウス活動部隊なし

凡例　ＵＮタスク

別紙第１－４

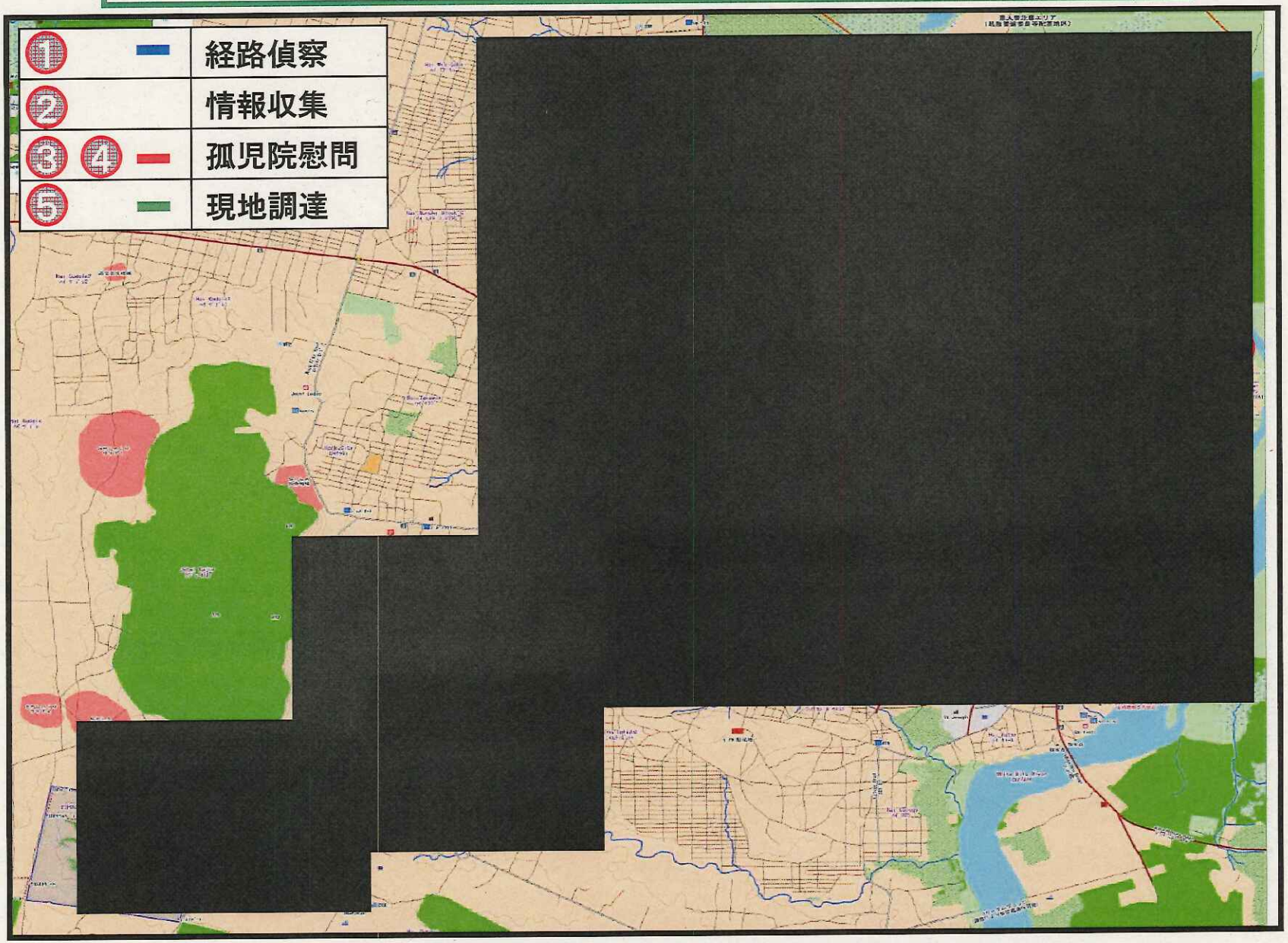
活動概要（ジュバ市内）（４／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部（Ｓ－２）	[redacted]	ジュバ市内	[redacted]	[redacted]	[redacted]
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③	その他	孤児院慰問	隊本部（Ｓ－１）各部隊	０９００～１４００	ＨＯＨ孤児院	１７	高機×４	
④		隊長孤児院慰問視察	隊本部（Ｓ－１）	０９４０～１１００	ＨＯＨ孤児院	４	ランクル×１	
⑤		現地調達（補給班）	補給班	０９００～１２００	ジット LA BAGETTO	３	高機×１	

凡例　UNタスク

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

別紙第１－５



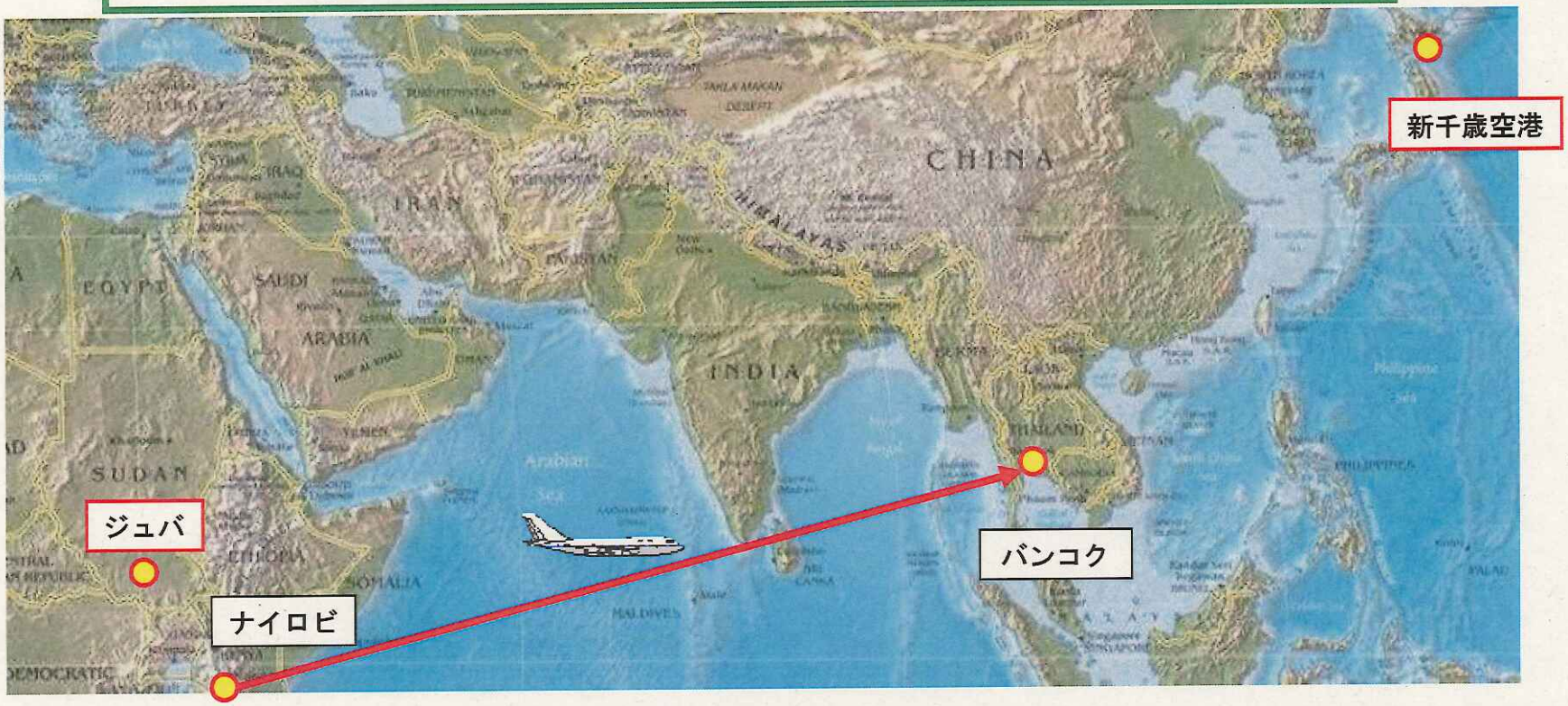
別紙第１－６

活動概要（ジュバ市外）（６／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	東千歳駐屯地への前進 （先発隊）	[redacted] 以下先発隊	１１月１８日 １２２０ｃ～ １１月２０日 １０３０ｉ	日本隊宿営地～ ジュバ空港～ ナイロビ空港～ バンコク空港～ 新千歳空港～ 東千歳駐屯地	５８		

凡例　UNタスク

活動概要（ジュバ市外）（７／７）



区　分	１１月		
	１８日（金）	１９日（土）	２０（日）
移動経路	ジュバ～ナイロビ	ナイロビ～バンコク	バンコク～新千歳空港
航空機	ケニア航空３５３便	ケニア航空８６０便	タイ航空６７０便
予定時間（ジュバ時間）	１５５０c～１７３５c	２３５９c～０９３０c	１９４５c～０２３０c
離陸・着陸（ジュバ時間）	１７１１c～１８４０c	００１９c～０９２１c	

本日の活動成果

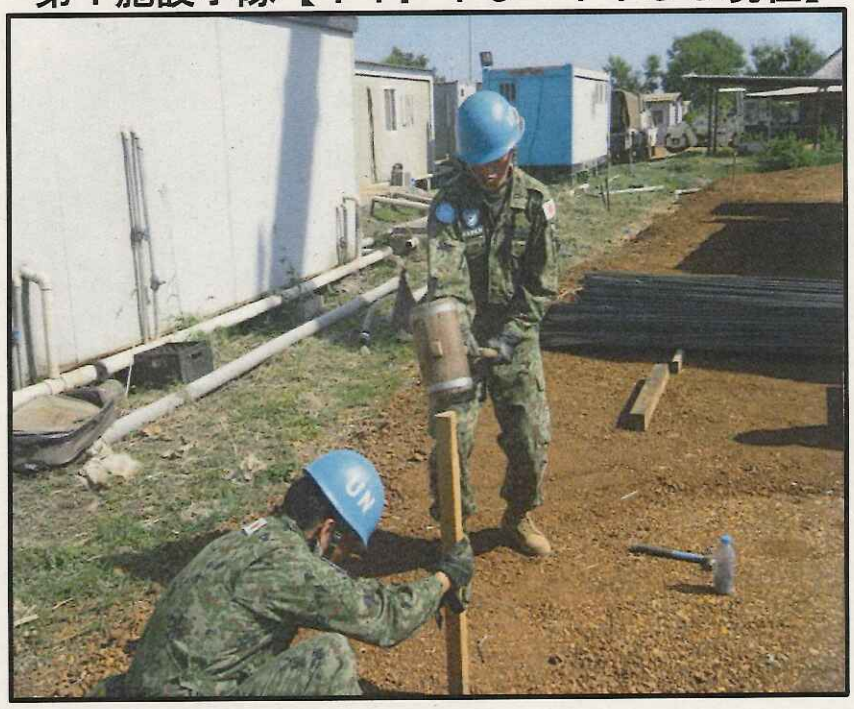
トンピン内退避壕構築

活　動　前

第１施設小隊【１１．１９　０８３０現在】

活　動　中

第１施設小隊【１１．１９　１１３０現在】



活　動　成　果	
[redacted]	退避壕構築位置測量・資材運搬

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
別紙第３「情　勢」
別紙第４「装備品等現況」
別紙第５「患者受診状況」
別紙第６「人員現況」
別紙第７「総括（評価）」

(2)　活動命令
別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
別紙第９「視察・来隊予定」
別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（1／7）／Situation

別紙第３－１

凡例　青字：新規
赤字：評価

1　南スーダン全域の情勢

(1)　衝突解決合意履行に関する情報
新規事象なし

(2)　衝突解決合意不履行に関する情報
新規事象なし

(3)　その他入手した主要な情報資料

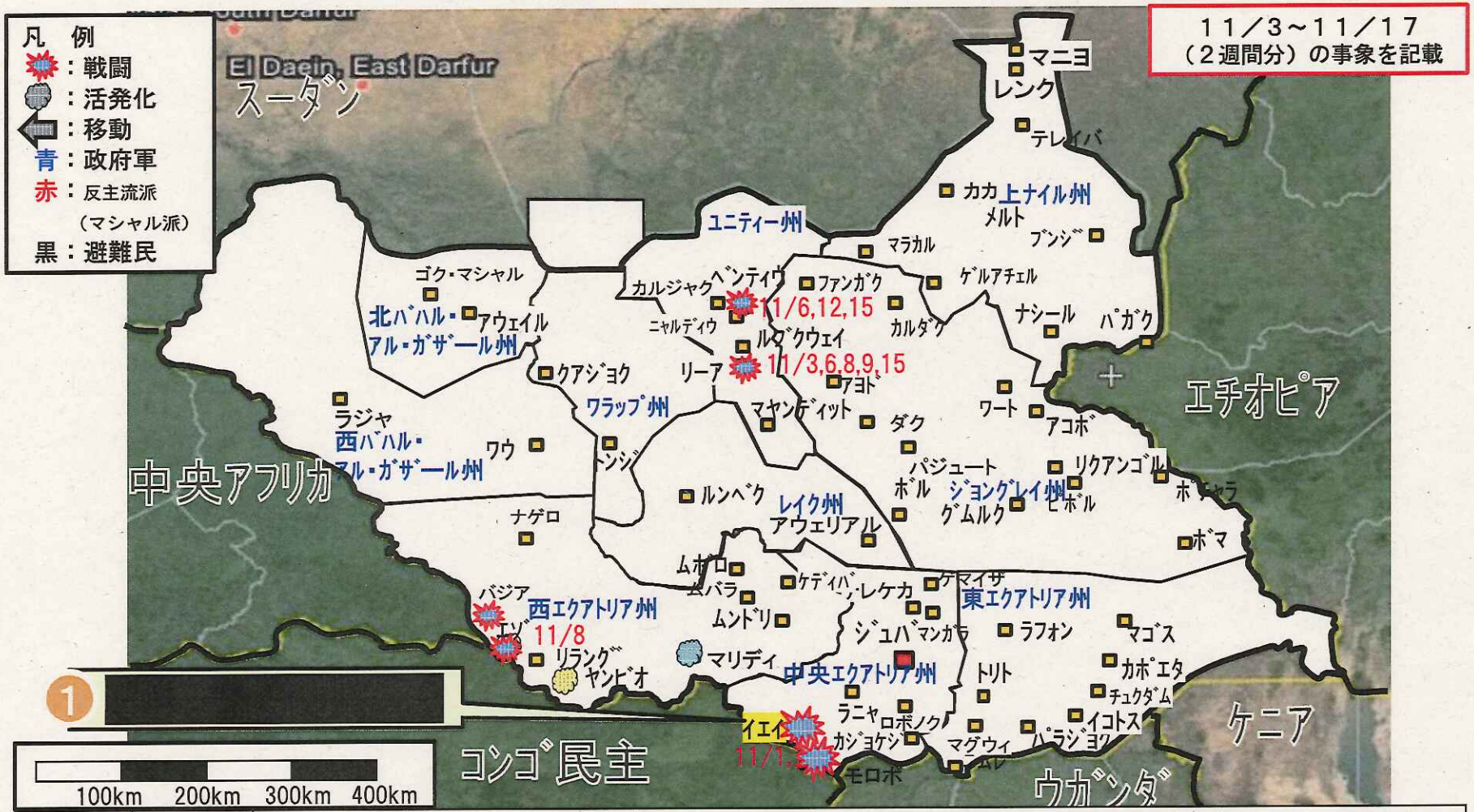
1 [redacted]

■　１８日、暫定政府の外務省報道官は米国国連大使による安保理に対する武器禁輸及びターゲット制裁の提案に関し、「政府は衝突解決合意を実行中であり、武器禁輸やターゲット制裁を課される理由がない。また、それは何の解決ももたらさず、問題をより複雑化させるだけである。」と発言した模様
（１８日　新華社”S.S says Arms embargo and sanctions not solution to violence”）

■　１８日、暫定政府の内務、外務及び防衛大臣は、Sudan Tribuneによる個別の取材に対し、武器禁輸及びターゲット制裁の提案への反対を示すとともに、衝突解決合意が実行中であることを強調した模様
また、ロシアによる拒否権の発動に期待をよせている模様
（１８日　Sudan Tribune”S.S lauds Russian objection to arms embargo ”）

→　今後、反ＵＮ、反米国デモの発生及びＳＯＦＡ違反の増加の可能性は否定できず注視が必要

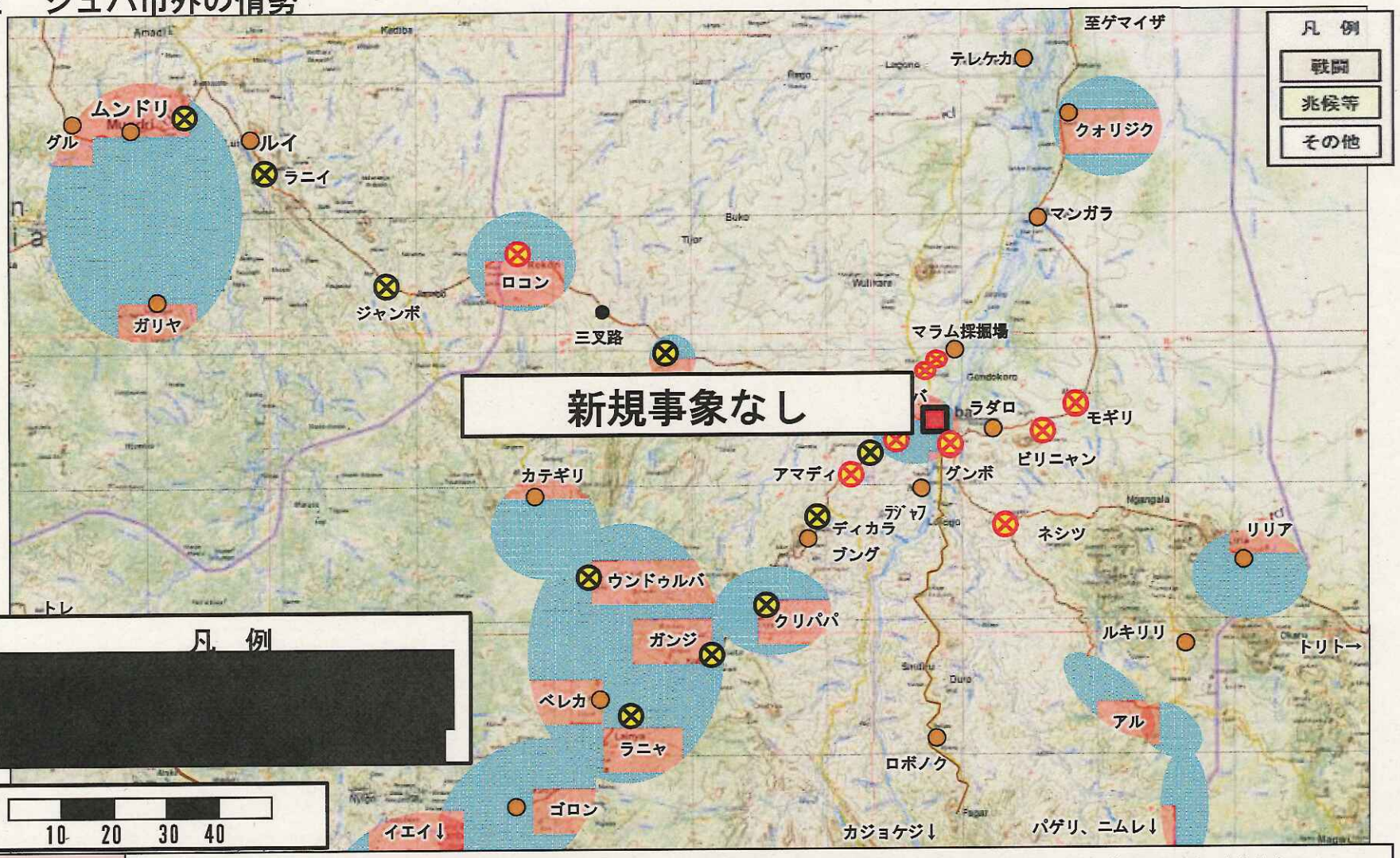
情　勢（２／７）／Situation



評　価	衝突解決合意	南スーダン政府は、安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意しているものの、政府高官での相反する発言も確認されており、安保理協議の動向及びケニア撤退の影響には注視が必要 北部及び南部において、政府軍と反主流派（マシャル派）との小規模な戦闘が継続しており、マシャル氏のキール政権打倒のための武力抵抗に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、東、西エクアトリア地域では武装集団による襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	乾季への移行に伴うものと思料される牛の移動等が確認されており、今後、各地での部族間対立発生の可能性は否定できず、注視が必要

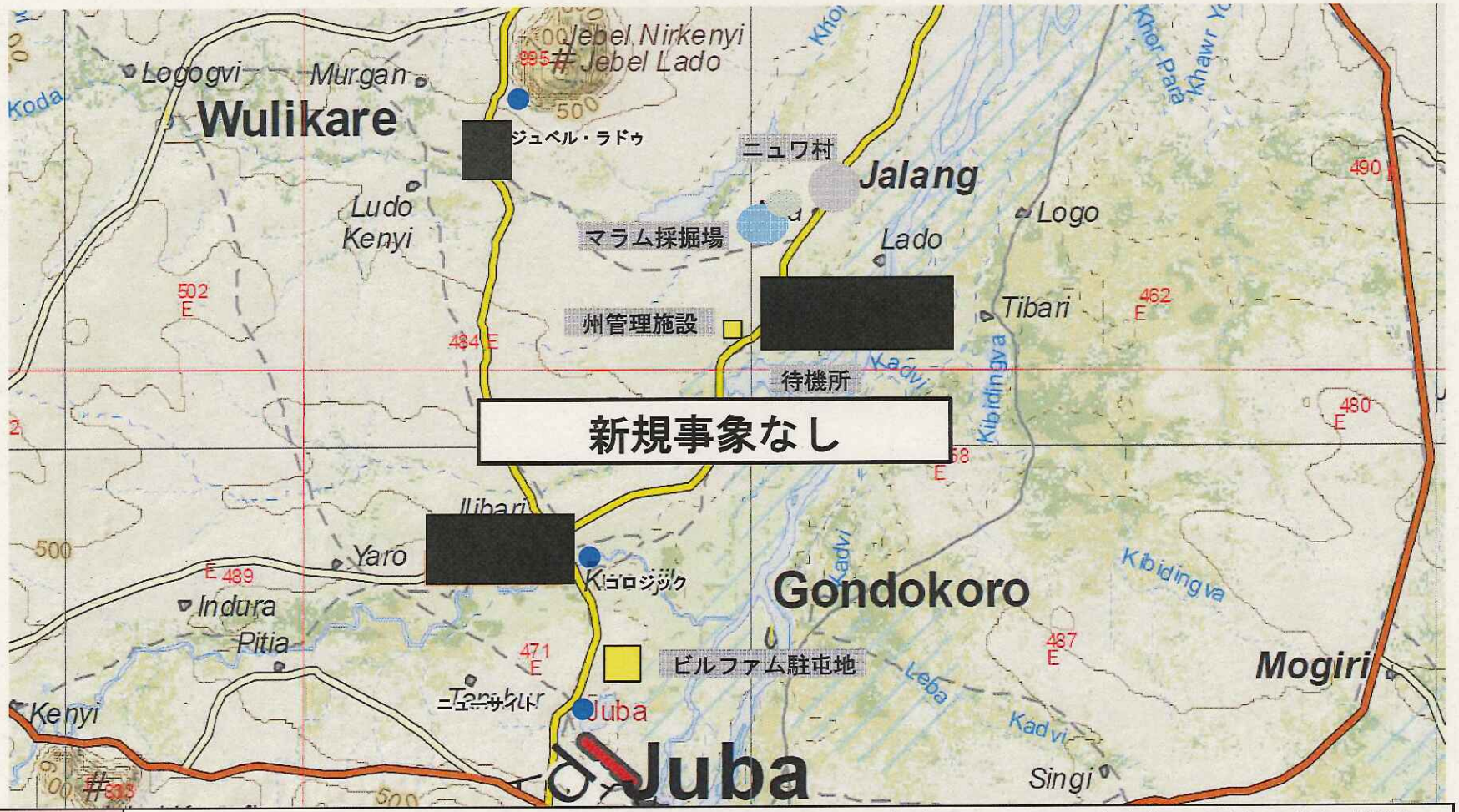
情　勢（3／7）／Situation

2　ジュバ市外の情勢



評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、射撃事案、道路沿いで政府軍に対する反主流派（マシャル派）による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情　勢（4／7）／Situation



評　価	地域住民、特にムンダリ族（銃を携行する牛飼い）と政府軍との間又は牛飼い同士の間で銃撃を含む衝突（政府軍によるムンダリ族への報復）が発生する可能性もあり、移動間の衝突への巻き込まれ及び流れ弾には警戒が必要 また、食糧確保のためにビルファムロード沿いに北上する牛飼い等の所有する家畜への衝突にも、併せて注意が必要

情　勢（５／７）／Situation

３　ジュバ市内の状況

■　１８日２２５０頃、宿営地北東方向３ｋｍ以上、射撃音４発
■　１８日２３１０頃、宿営地北東方向３ｋｍ以上、射撃音３発
■　１９日０４４１頃、宿営地西方向２ｋｍ以上、射撃音２発
（１９日　警衛隊）
→　夜間、宿営地周辺の射撃時における流れ弾に引き続き、注意

■　１９日１０００頃、ギアダ駐屯地に集合していたレッドアーミー集会参加者による行進は、１１３０頃、ＳＰＬＭハウスに到着し、集会が実施された模様
（１９日[redacted]
→　引き続き、市内の状況には注視が必要

評　価	ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イェイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]等が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化にも注視が必要

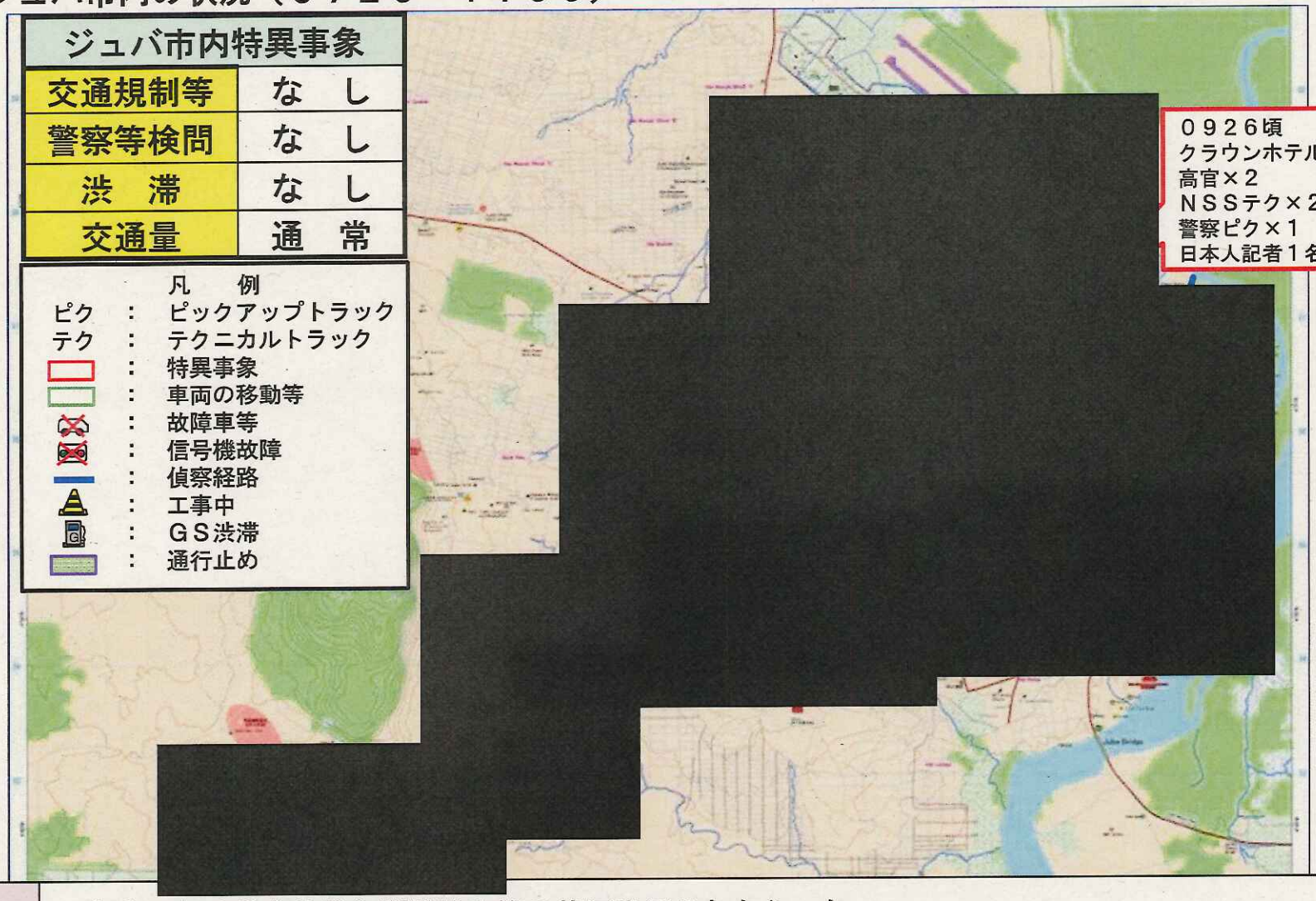
情　勢（６／７）／Situation

４　ジュバ市内の状況（０７２０～１１００）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	通　常

凡　例

ピク　：　ピックアップトラック
テク　：　テクニカルトラック
：　特異事象
：　車両の移動等
：　故障車等
：　信号機故障
：　偵察経路
：　工事中
：　ＧＳ渋滞
：　通行止め



評　価	市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（７／７）／Situation

５　気　象（０６００i）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	快晴	２３℃	４５℃	１６％	５８％	０mm	
カンパラ	晴れ時々曇り	１６℃	３１℃	５２％	９６％	４mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	９９％ [redacted]	高機動車×１ 右Ｒショックアブソーバ折損	部品請求実施 →[redacted]
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機×２ （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 →[redacted]

別紙第４－２

１１月１９日１８００ｃ

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

区分		品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

別紙第４－３

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

[redacted]

喫食者数：２９５名（総員３５３名、先発５８名）

１１月１９日１８００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	そ の 他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油(発電機)	[redacted]				
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

別紙第４－４

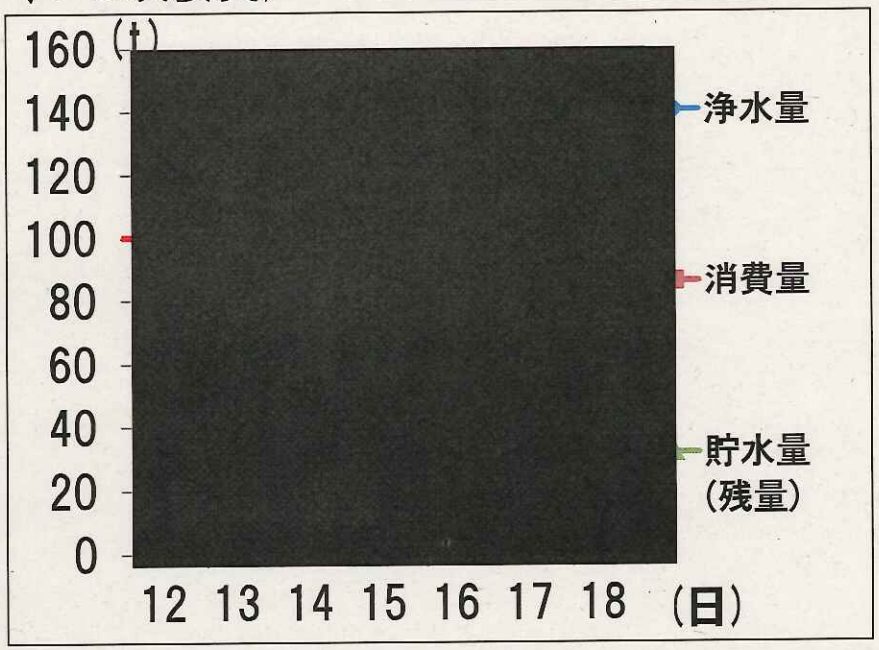
１１月１９日１３００ｃ

第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

【H28.11】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
土	１２	[redacted]		
日	１３			
月	１４			
火	１５			
水	１６			
木	１７			
金	１８			

凡例 ―― 消費量の目安ライン



他国供給先（前日実績）	供給量
ＵＮハウス	
トランジット	3
ネパールＦＰＵ	3
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	5
バングラ河川隊	
インド隊	
合　計	１１

【評　価】

○生活用水使用量の増加原因

→井戸掘削工事のため、12t使用

→先発帰国に伴う物品及び環境整備に使用

○第4井戸

→取水量は安定傾向を保っているが、砂の埋没等による再故障を未然防止するため、定期的な水深等の調査を実施

○第5井戸（工事期間：10月20日から11月下旬）

→水質等検査の結果、水質・水量及び土質が長期使用には適さないと判断したため、近傍地域の別の場所に再掘削を実施（11月16日溜めます準備、11月17日再掘削開始）

別紙第５

患者受診状況

受診患者計　　３名

１１月１８日１８００c
～１１月１９日１８００c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
隊本部	１名	[redacted]	勤務支障なし
本部付隊	１名		
情報班	１名		

凡例：　（再）　→　再　診

別紙第６

人員現況／Personnel Status

１１月１９日１８００ｃ

	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（ＵＮトンピン）	３５３	５８	２９５	○　先発帰国５８名	

凡例　青字：不在者

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

活動の分析及び評価

別紙第７－１

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	流れ弾	11/2, 4, 5, 12, 14, 15, 16, 17 近傍での射撃（特に夜間）	[redacted]
	ＵＮトンピン	反ＵＮデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対 11/17 安保理制裁協議において武器禁輸が提案 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	[redacted]
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	[redacted]
	ＵＮハウス	反ＵＮデモ	9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対 11/17 安保理制裁協議において武器禁輸が提案 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	[redacted]
		ＩＤＰ等の流入又は侵入	[redacted]	[redacted]
		流れ弾	10/4~ WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）パトロール	[redacted]
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	[redacted]	[redacted]
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	9/17　政府軍のPOCサイトへの侵入 [redacted]	[redacted]
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	[redacted]

別紙第７－２

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted] 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/19 JMEC全体会議の開催 10/28 ｴﾁｵﾋﾟｱ首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催 11/1-2　外国高官の来訪 [redacted] 11/11 SGによる安保理報告 [redacted] 11/15 安保理協議 11/17 安保理制裁協議 11/17 米大統領就任祝いデモ（中止） 11/17, 18 ｸﾗｳﾝﾎﾃﾙでJMEC会議 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対 11/19 SPLMハウスでレッドアーミー集会（大統領参加予定）	[redacted]
		反ＵＮデモ	8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 11/4 ケニアの撤退への反対を政府が表明 11/17 安保理制裁協議において武器禁輸が提案 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		流れ弾	[redacted] 11/2, 3, 4, 5, 6, 12, 14, 15 ｼﾞｭﾊﾞ市内における射撃（夕方以降） [redacted]	

別紙第７－３

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所に[redacted]存在 [redacted]	[redacted]
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 10/26 ｼﾞｭﾊﾞ－ﾏﾝｶﾞﾗ間の治安部隊の配置 11/2, 8, 14 ｼﾞｭﾊﾞ－ﾄﾘﾄ道沿いの民間車両襲撃 11月初旬 ｲｪｲからのIDPのﾋﾞﾘﾆｬﾝへの移送 11/14 ｼﾞｭﾊﾞ－ﾏﾝｶﾞﾗ道沿いで政府軍及び民間車両に対する襲撃	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ	10/14 ｺﾀﾞでの政府軍と反主流派の衝突 [redacted] 10/30 反主流派がﾑﾝﾄﾞﾘ地区を確保したとの発言 [redacted]	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	11/5　ｼﾞｭﾊﾞ郊外東部ｹﾞﾚｲで民間人による銃の乱射	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ	10/26, 27, 11/1, 2 ﾏﾗﾑ採掘場の情勢は平穏 10/29, 30 近傍住民との小競合い 11/2 ﾋﾞﾙﾌｧﾑ駐屯地南で約30発の射撃音	
		ハラスメント	[redacted] 10/26, 27, 11/1, 2, 7, 8, 9, 11, 14, 15 検問を異状なく通過 [redacted] 11/1-2　外国高官の来訪 11/2 ﾋﾞﾙﾌｧﾑ駐屯地南で約30発の射撃音 11/3, 4　検問に所在するSPLA兵士の感情良好 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		犯罪への巻き込まれ	11/8 牛飼いは乾季に伴い北へ移動し、やや減少 10/27 部族間の感情は良好 11/2 ﾋﾞﾙﾌｧﾑ駐屯地南で約30発の射撃音	

別紙第７－４

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾	[redacted]	[redacted]
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ	[redacted]	[redacted]
	流れ弾	[redacted]	[redacted]
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ	[redacted]	[redacted]
	ＩＤＰの流入	[redacted]	[redacted]
	流れ弾	[redacted]	[redacted]
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	[redacted]	[redacted]
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	疾病罹患	[redacted]	[redacted]

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	反ＵＮデモ	[redacted]	[redacted]
	流れ弾	[redacted]	[redacted]

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	[redacted]	[redacted]
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃、政府軍兵士による反主流派と見做された民間人に対する暴行と報復が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、ムンドリ近郊における治安が不安定化している傾向にあり、ＵＮＭＩＳＳ車両が問題なく通行しているものの、道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれ及び衝突の東側への波及には注意が必要 マラム採掘場に至る経路沿いでは、ＵＮＭＩＳＳ車両の通行に対する直接的な脅威は確認されていないものの、犯罪への巻き込まれには注意が必要 ＵＮハウス周辺では、ＷＦＺの設定以降射撃は減少傾向にあるものの、昼間の発砲音が確認されていることから、流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、ＩＤＰとＵＮＰＯＬ等との間で小競合いが発生しており、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要 ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、不安定な状態が継続しており、流れ弾には注意が必要 加えて、ケニア軍の撤退に関して国際社会、暫定政府及び反主流派（マシャル派）は、ケニア軍の引き続きの駐屯を望んでいる事や、米国連大使から国連安保理に対し、武器禁輸及びターゲット制裁に関する提言が実施され、南スーダン政府高官による反対発言が報道されていることから、反ＵＮデモ及びハラスメントに注意が必要

総　括

評　価 （総括）	・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は、大きく影響なし ・　ジュバ市内の移動・活動は国連安保理に対し、武器禁輸及びターゲット制裁に関する提言が実施され、南スーダン政府高官による反対発言があったことに伴う検問によるハラスメントの可能性は否定できないとともに、ＳＰＬＭハウス周辺においてレッドアーミーの集会があることから、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、市内状況、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要である。 ・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、車両による防護準備が必要 　また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要	
処置・対策	ＩＤＰとの小競合い	[redacted]
	流れ弾対処	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	

明日の活動命令
(Operations)

1　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy & Guidance)

2　視察・来隊予定　(Schedules of visitors)

3　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

１１月２０日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。
　また、第１１次要員の受け入れ態勢を確立する。

(2)ア　活動警備レベル（基準）

(ｱ)　ＵＮハウス地区　レベル[redacted]

(ｲ)　ＵＮトンピン地区　　レベル[redacted]

(ｳ)　ジュバ市内

ａ　ジュバ空港　　レベル[redacted]

ｂ　ｚｏｎｅ４　（ジュバタウン）　　レベル[redacted]

ｃ　ｚｏｎｅ５　（ハイシネマ）　　レベル[redacted]

イ　宿営地警備[redacted]

３(1)　共　通

各種整備及び第１１次要員の受け入れ準備

(2)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）

宿営地警備及び[redacted]

(3)　ＨＱＵ（本部付隊）

宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区内給水活動及び[redacted]

(4)　ＭＩＳｅｃ（情報班）

ジュバ市内における情報収集

(5)　ＭＰＳｅｃ（警務班）

[redacted]

別紙第８－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／８）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給　水	補給班	０８００～１２００	トランジット エチオピア歩兵大隊 ネパール歩兵中隊	2	給水車×1	[redacted]
②	その他	ＵＮバス借用	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１６３０	ディスパッチセル	5	小型×1、マイクロバス×3	[redacted]

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－３

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／８）

別紙第８－４

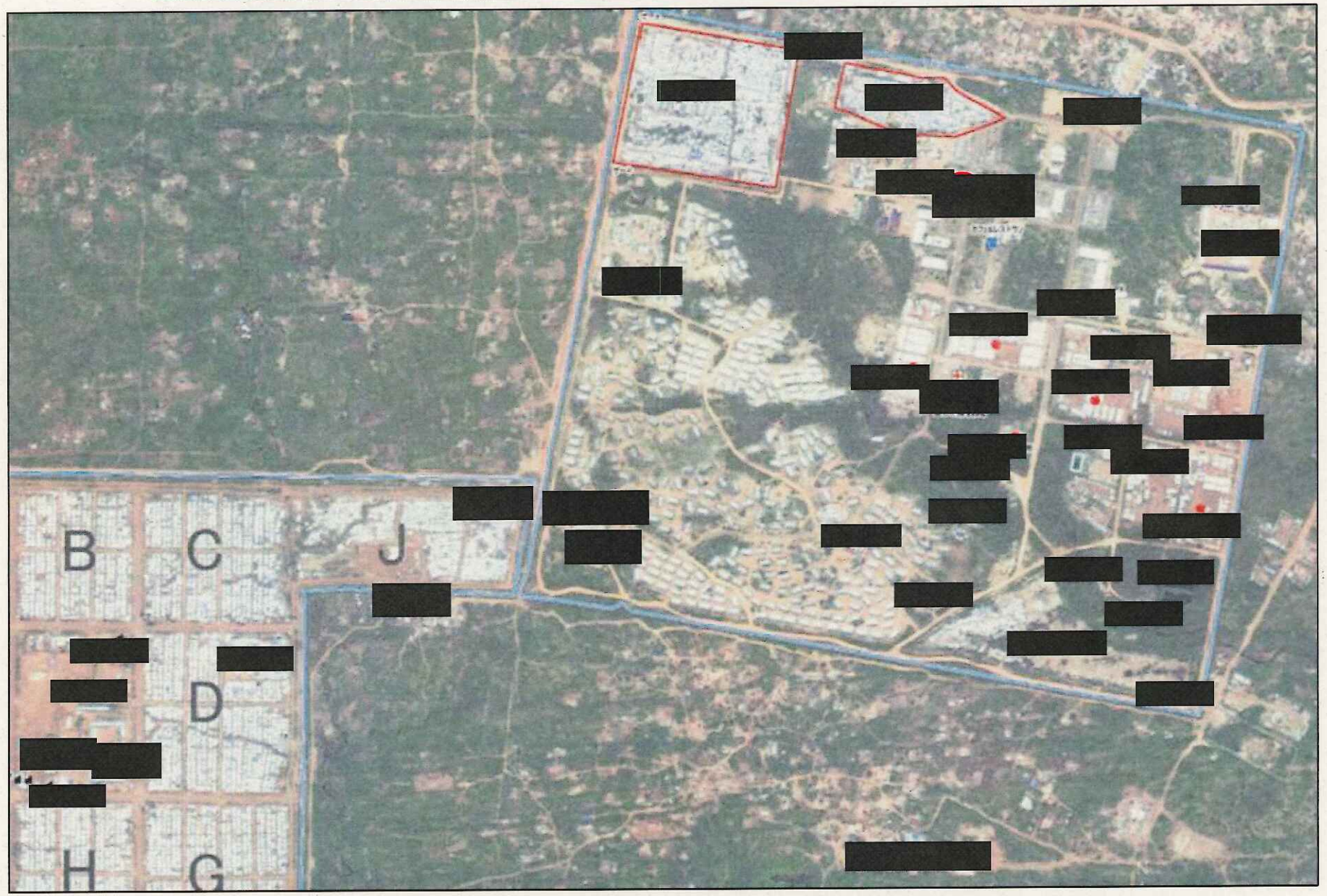
活動概要（ＵＮハウス地区）（３／８）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	業務調整（輸送）	隊本部 （Ｓ－４）	１０００～ １４００	ＵＮハウス	４	ランクル×１	[redacted]

凡例 ＵＮタスク

別紙第８－５

活動概要（ＵＮハウス地区）（４／８）



別紙第８－６

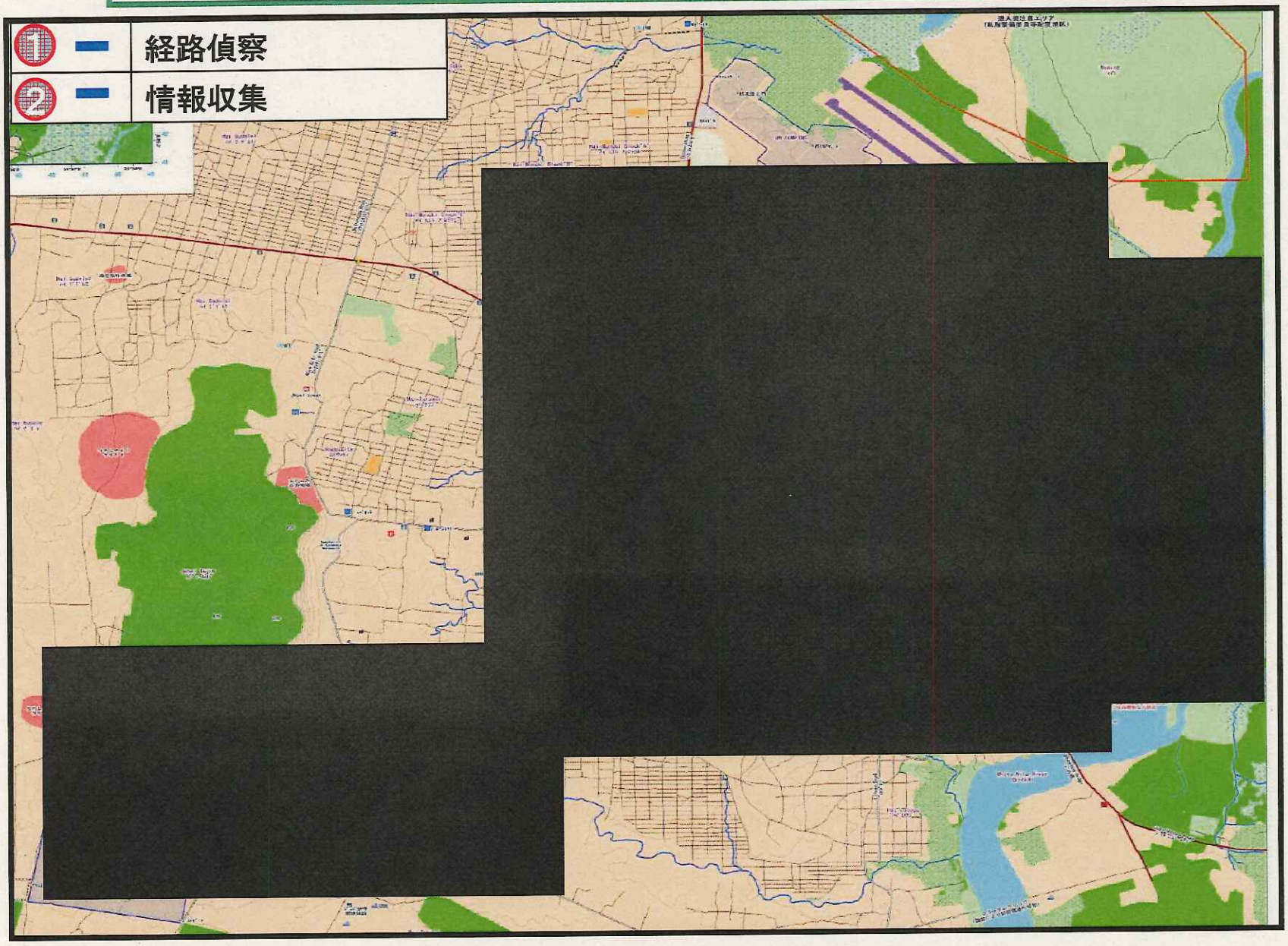
活動概要（ジュバ市内）（５／８）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部（Ｓ－２）	[redacted]	ジュバ市内	[redacted]	[redacted]	[redacted]
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			

凡例　UNタスク

別紙第８－７

活動概要（ジュバ市内）（６／８）



別紙第８－８

活動概要（ジュバ市内）（７／８）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	東千歳駐屯地への前進 （先発隊）	[redacted] 以下先発隊	１１月１９日 １２２０ｃ～ １１月２０日 １０３０ｉ	日本隊宿営地～ ジュバ空港～ ナイロビ空港～ バンコク空港～ 新千歳空港～ 東千歳駐屯地	５８		

凡例　UNタスク

活動概要（ジュバ市内）（８／８）

区　分	１１月		
	１８日（金）	１９日（土）	２０（日）
移動経路	ジュバ～ナイロビ	ナイロビ～バンコク	バンコク～新千歳空港
航空機	ケニア航空３５３便	ケニア航空８６０便	タイ航空６７０便
予定時間（ジュバ時間）	１５５０c～１７３５c	２３５９c～０９３０c	１９４５c～０２３０c
離陸・着陸（ジュバ時間）	１７１１c～１８４０c	００１９c～	

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
	視察・来隊者等予定なし	

隊長、副隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM	課業外
隊　長	[redacted]		
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

	AM	PM	課業外
最先任上級曹長	[redacted]		

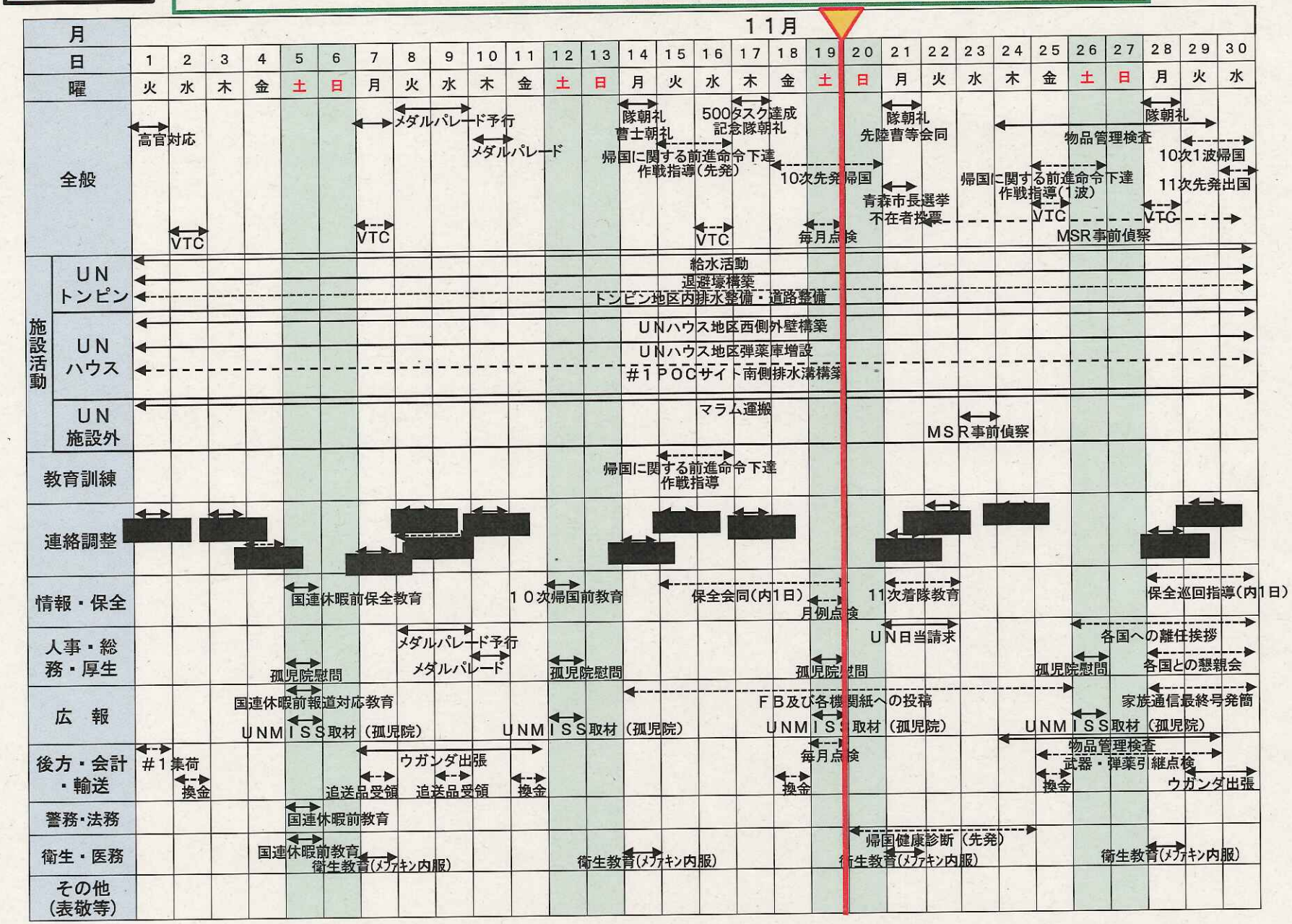
３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

赤字：変化事項

１１月　月間業務予定

別紙第１１－１



青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１１／２０～１１／２６）第５０週

別紙第１１－２

日	１１／２０	１１／２１	１１／２２	１１／２３	１１／２４	１１／２５	１１／２６
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般	[redacted]						
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

別紙第１２

連携案件等情報

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練 「#４さくらＰＪ」	ＭＴＣ	実施困難	ＭＴＣ ＪＩＣＡ	・10/1 ＪＩＣＡ南スーダン事務所長交代 （ウガンダ事務所長兼任） [redacted] ・現在のＵＮＭＩＳＳの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難 ・11/23 担当者引継ぎ、12/14 隊長による次長表敬予定	[redacted]
		フリーダムブリッジにおける作業支援	ＪＩＣＡ 大日本土木	ＣＲＦにおいて実施の可否を検討中	ＣＲＦ ＪＩＣＡ	ＣＲＦにおいて外務省及びＪＩＣＡによるプロジェクト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等連携案件	ＵＮＯＰＳ水質調査支援 （日本補正予算によるボル河川港建設ＰＪに伴う水質調査の依頼）	ＵＮＯＰＳ （大使館）	工兵課からタスク発出済み	ＵＮＯＰＳ （※） （大使館）	・ボル河川港建設事業は現在着工済だが、引き続き、水質調査支援等の連携のため、ＵＮＰＰＳ側より工事の進捗状況について情報提供をする予定	
2 3		ＵＮハビタット （日本政府予算によるワウ・ジュバにおける居住環境整備事業）	ＵＮ ハビタット （大使館）	大使館から連携の可能性検討再開の打診あり	ＵＮ ハビタット （大使館）	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得るための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄは、７月衝突事案以降中断していた施設隊との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・10/21に、大使館とＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄ担当が現地偵察を実施。施設隊と連携できる場合は、排水改善のための側道整備となることが判明 ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄから、ＵＮＭＩＳＳハイレベルの書簡による打ち込み完了（11/4大使館より確認）	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　ー：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（１８日～１９日）ジュバ／Weather JUBA

昨日からの総雨量

総雨量
0mm

日(曜) Date		１９日（土）						２０日（日）	
時　Hrs		6～9	9～12	12～15	15～18	18～21	21～24	0～3	3～6
主要な活動			毎月点検 孤児院慰問 ＵＮの基盤整備						
Juba	天　気								
	気温(℃)	３１	３７	３７	３３	３１	２６	２５	２３
	体感気温(℃)	３２	３８	３７	３５	３５	２７	２６	２５
	降水確率	０%	０%	０%	０%	７０%	０%	０%	０%
	雨量	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	風向	南	東	東北東	北北東	東北東	東南東	南南東	南
	風速	2	2	2	1	1	2	1	1
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

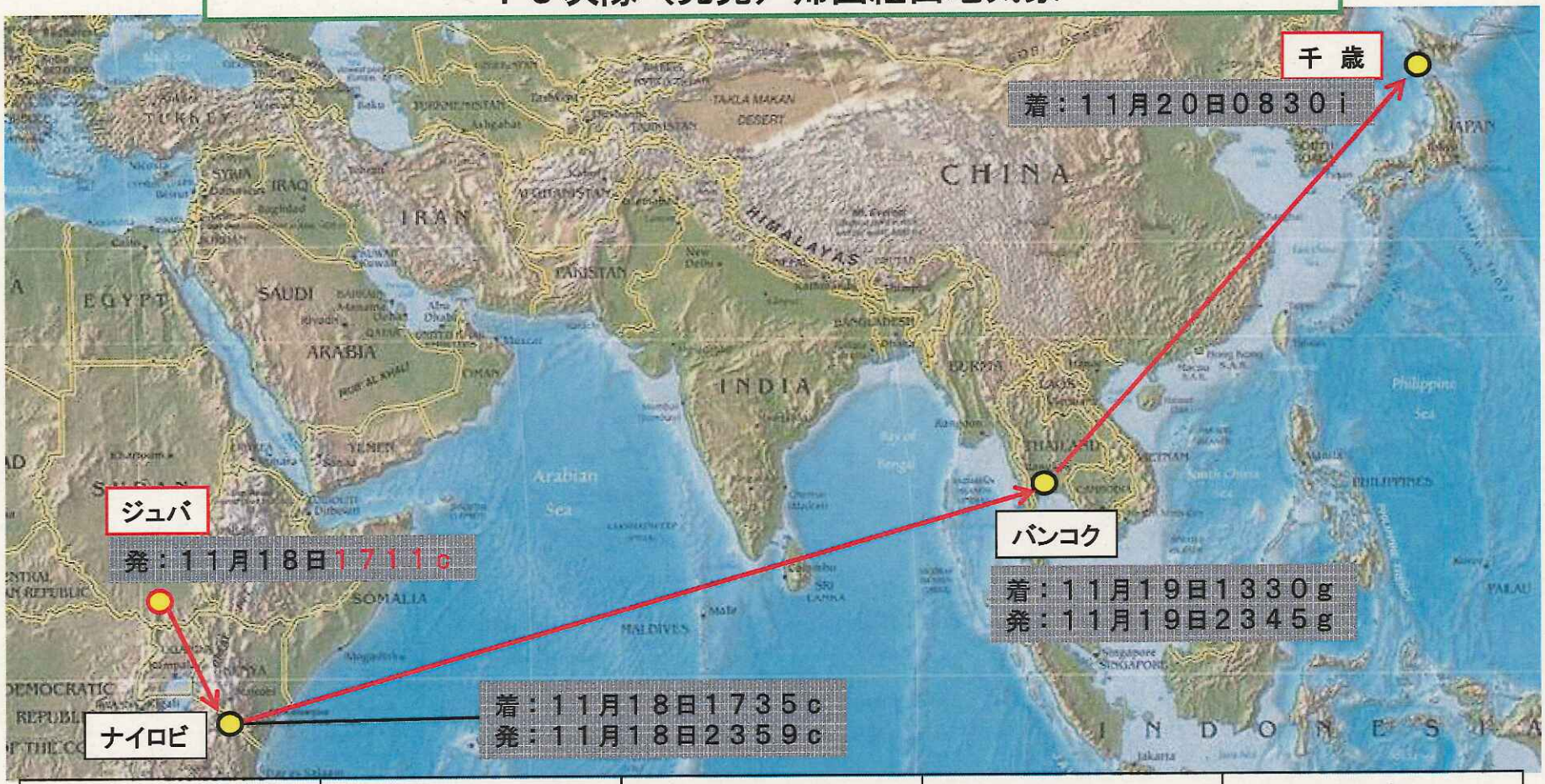
日(曜)		２０日（日）	２１日（月）	２２日（火）	２３日（水）	２４日（木）
主要な活動		＃１１先発出国	＃１１先発出迎え		ＭＳＲ偵察（マンガラ）	市内研修
			ＵＮの基盤整備			
Juba	天　気					
	気温(℃)	３７／２４	３７／２３	３８／２４	３９／２４	３９／２４
	降水確率	０％	０％	８０％	８０％	６０％
	雨　量	０mm	０mm	２mm	２mm	１mm
	評　価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	３１／１６	３１／１６	３２／１６	３１／１６	３１／１５
	降水確率	９０％	９０％	９０％	９０％	９０％
	雨　量	１mm	８mm	４mm	４mm	８mm

凡例　影響度：問題なし ＜ 一部制限 ＜ 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	
	１　ジュバは、２２日以降、高い降水確率のため、突然の雷雨等には注意が必要 ２　ウガンダは、期間を通じて降雨が継続する模様

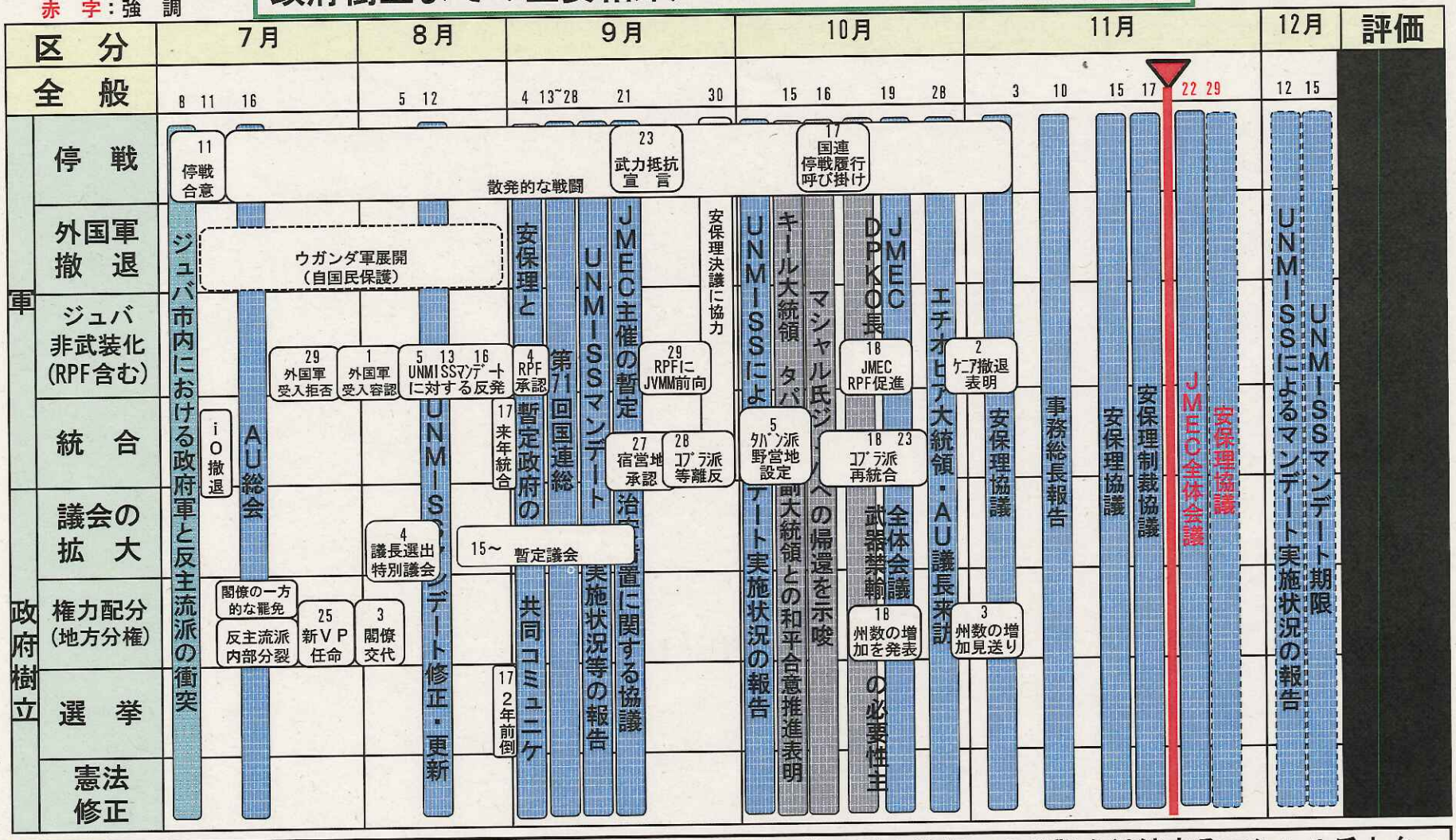
１０次隊（先発）帰国経由地気象



経由地	ジュバ	ナイロビ	バンコク	千 歳
11月18日	37／23	25／15		
11月19日			34／25	
11月20日				10／6

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価	衝突解決合意については、キール政権及びタバン第１副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第１副大統領との衝突解決合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、進展は低調な状況であるとともに、衝突解決合意履行に関して、主導的な役割を担っていたケニアが撤退を開始したことから、地域保護部隊の展開を含めて、今後の協議には更に時間を要する可能性 また、今後、国連事務総長や専門家パネルによる武器禁輸に関する提言を踏まえた制裁についての協議に対し、暫定政府によるハラスメントやデモ等の活動の可能性は否定できず注視が必要

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8 — 2016.7 — 2018

安定 / 不安定

和平合意

合意履行状況

停戦 / 選挙 / 憲法修正 / 議会拡大 / 権力配分 / 外国軍撤退 / 非武装化 / 統合

不履行 履行

暫定政府

ジュバ衝突事案

政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化（我の移動制限）
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- 政府軍と地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

UNMISS部隊配置状況（２０１６年１１月１９日現在）

ガーナ
歩兵大隊
[redacted]：本部ベンティウ）

ケニア
歩兵大隊
（[redacted]：本部ワウ）
[redacted]

中国
歩兵大隊
[redacted]：本部ジュバ）
工兵部隊[redacted]）
医療部隊[redacted]）
（本部ワウ）

エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]：本部ジュバ）
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]：本部ボル）
[redacted]

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]：本部ジュバ）
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]：本部マラカル）
航空部隊[redacted]）
[redacted]
（本部ジュバ）

モンゴル
歩兵大隊
[redacted]：本部ベンティウ）

セクターHQ ウエスト（ワウ）
[redacted]

イギリス
工兵部[redacted]（ジュバ）
工兵部隊[redacted]マラカル）
[redacted]

ネパール
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]：本部ルンベク）
[redacted]
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]：本部ジュバ）
[redacted]

セクターHQノース
（マラカル）[redacted]

インド
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]：本部マラカル）
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]：本部ボル）
[redacted]
医療部隊
（[redacted]：本部マラカル）
[redacted]
工兵部隊
[redacted]：本部マラカル）
通信部隊
（[redacted]：本部ジュバ）
燃料部隊
[redacted]：本部ジュバ）

韓国
工兵部隊
[redacted]：本部ボル）

セクターHQイースト
（ボル）[redacted]

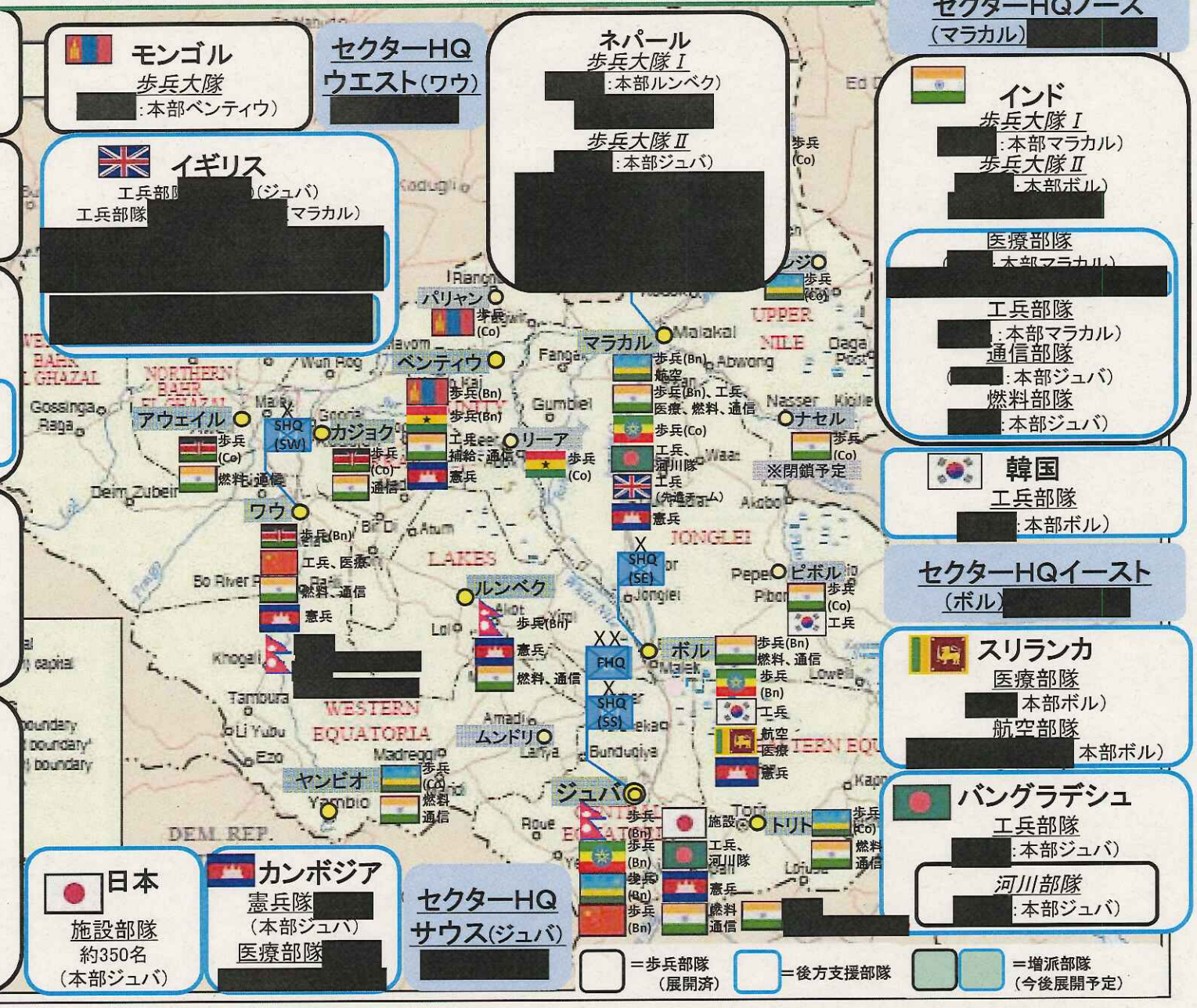
スリランカ
医療部隊
[redacted]本部ボル）
航空部隊
[redacted]本部ボル）

バングラデシュ
工兵部隊
[redacted]：本部ジュバ）
河川部隊
[redacted]：本部ジュバ）

日本
施設部隊
約350名
（本部ジュバ）

カンボジア
憲兵隊[redacted]
（本部ジュバ）
医療部隊
[redacted]

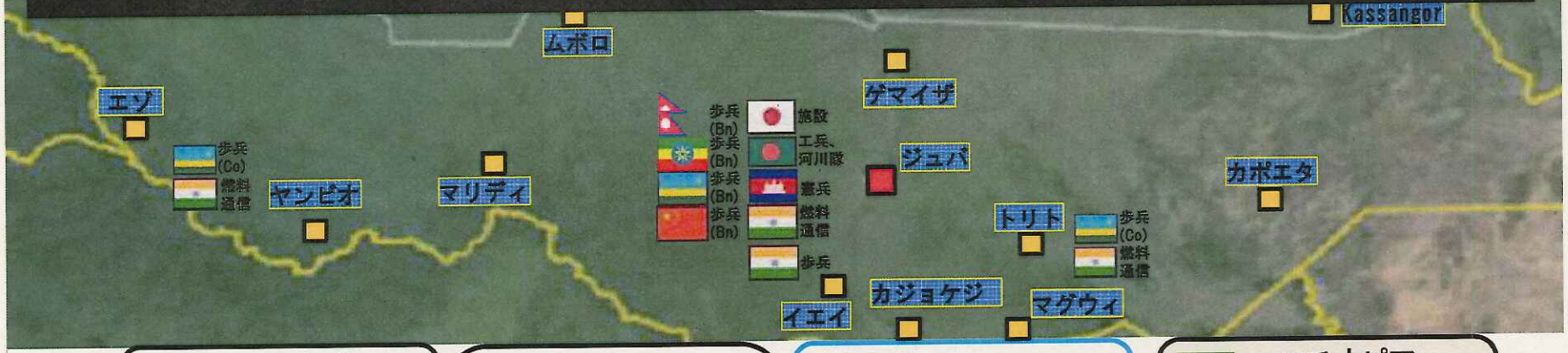
セクターHQ サウス（ジュバ）
[redacted]



＝歩兵部隊（展開済）
＝後方支援部隊
＝増派部隊（今後展開予定）

セクターサウス内部状況（２０１６年１１月１９日現在）

[redacted]



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]：本部ジュバ）

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]：本部ジュバ）
航空部隊[redacted]
[redacted]
（本部ジュバ）

日本
施設部隊
（約350名：本部ジュバ）

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ（本部：ボル）

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]：本部ジュバ）
[redacted]

バングラデシュ
施設部隊[redacted]（本部：ジュバ）
河川部隊[redacted]（本部：ジュバ）

指揮：[redacted]
（本部；ジュバ）
[redacted]

中国
歩兵大隊[redacted]）
（本部：ジュバ）

カンボジア
憲兵隊：（本部：ジュバ）
医療部隊：（本部：ジュバ）

インド
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]

＝増派部隊　＝後方支援部隊

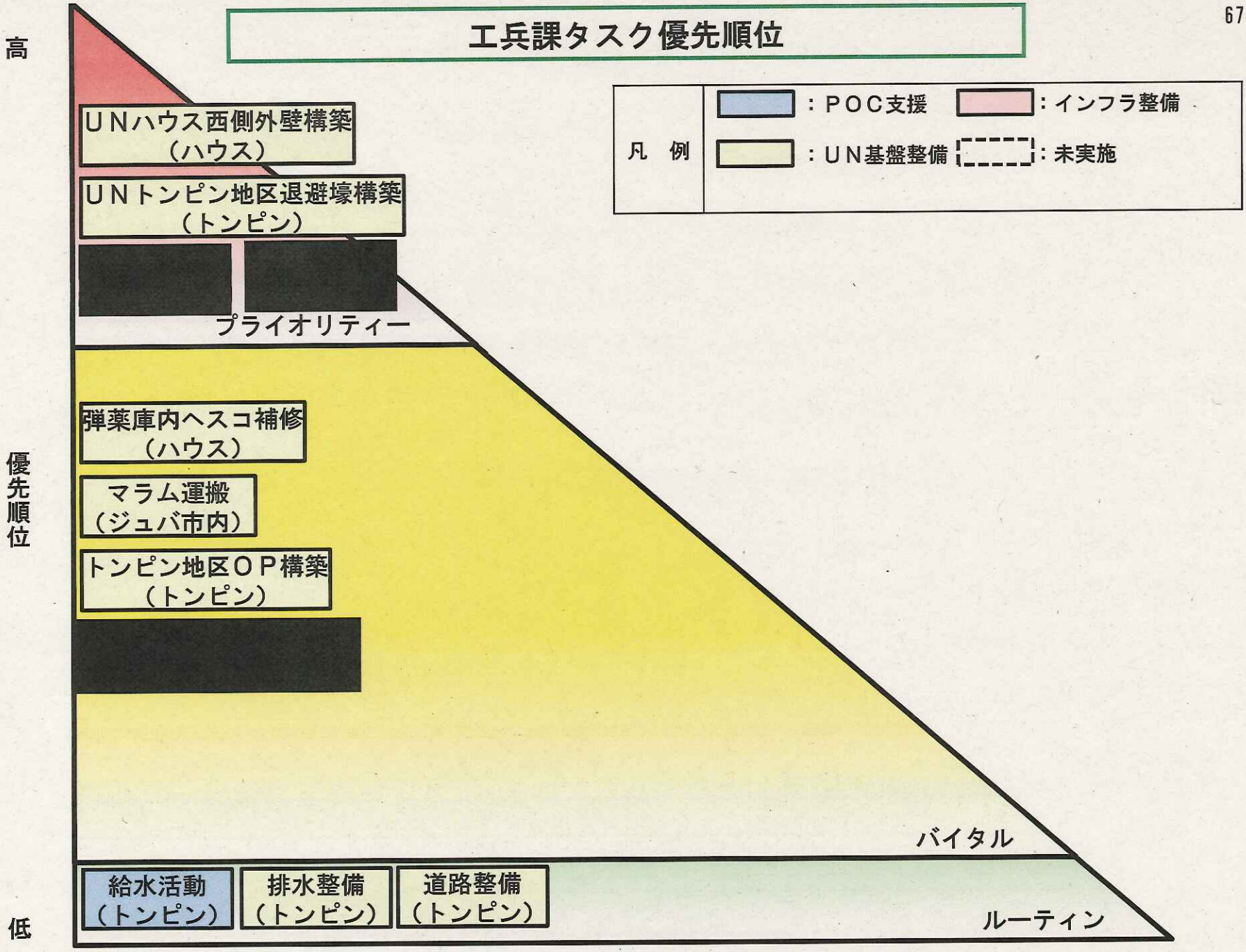
28．11．19
1500c

人員現況（第１０次要員）

場所	部隊		総員	内訳 幹部(O)	内訳 准曹(WS)	内訳 陸士(P)	現在員	事故	理由
ジュバ	隊本部		[redacted]						先発帰国
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							先発帰国
		整備班							先発帰国
		補給班							先発帰国
		通信班							先発帰国
		衛生班							先発帰国
		営繕班							
	施設器材小隊								先発帰国
	第１施設小隊								先発帰国
	第２施設小隊								先発帰国
	第３施設小隊								先発帰国
	警備小隊								先発帰国
	情報班								
	警護班								
	派遣警務班								先発帰国
合計			353	65	252	36	295	58	先発帰国

凡例　赤字：強調　青字：不在者

工兵課タスク優先順位


高
優先順位
低
凡　例
：POC支援
：インフラ整備
：UN基盤整備
：未実施
UNハウス西側外壁構築
（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築
（トンピン）
プライオリティー
弾薬庫内ヘスコ補修
（ハウス）
マラム運搬
（ジュバ市内）
トンピン地区OP構築
（トンピン）
バイタル
給水活動
（トンピン）
排水整備
（トンピン）
道路整備
（トンピン）
ルーティン

２０１６年１１月１９日タスク等現況（１／２）

凡　例	：POC支援	：インフラ整備	：UN基盤整備	：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	UN基盤整備	1	UNハウス西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施計画	[redacted]			
492	UN基盤整備	2	UNトンピン地区退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施計画	[redacted]			
515	UN基盤整備	3	弾薬庫内ヘスコ補修	UNハウス	ヘスコ補修	実施計画	[redacted]			
500	UN基盤整備	4	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日累計	[redacted]			
476	UN基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	UNトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施計画	[redacted]			工兵課の指示待ち
325	POC支援	8	給水活動	UNトンピン	給　水		[redacted]			
471	UN基盤整備	9	排水整備	UNトンピン	排　水		[redacted]			
459	UN基盤整備	１０	道路整備	UNトンピン	道路整備		[redacted]			

２０１６年１１月１９日タスク等現況（２／２）

凡　例	：ＵＮ基盤整備　　：インフラ整備

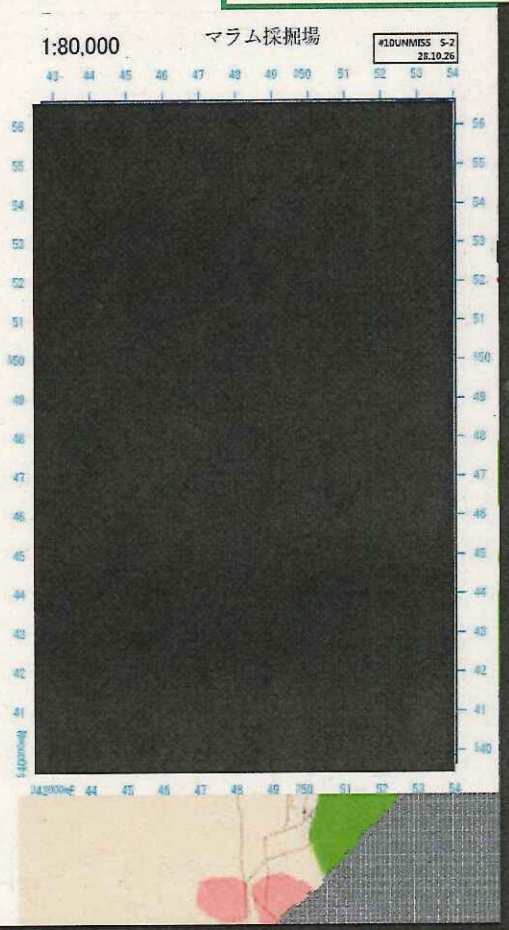
２　未実施

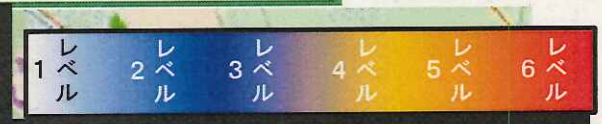
タスク No	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
456	ＵＮ基盤整備		[redacted]	ＵＮトンピン	[redacted]		[redacted]			
512	インフラ整備									
513	インフラ整備									

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
５２０ （５０６）	プライオリティー	１６	
	バイタル	７８	
	ルーティン	３	
	計	９７	
		完　了	８６
		実施中	８
		未実施	３

地域脅威レベル評価（２０１６年１１月１９日現在）

2016.11．18





[redacted]

隊員服装・装備等基準

区　　分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 （警備、経路偵察除く。）
[redacted]			
備考	[redacted]		

警備の態勢 [redacted] （１１月１９日１７００現在）

[redacted]

活動写真

自隊計画（ジュバ空港）

自隊計画（ジュバ空港）

孤児院慰問
（ＨＯＨ孤児院）

孤児院慰問
（ＨＯＨ孤児院）

自隊計画（ジュバ空港）

自隊計画（ジュバ空港）

孤児院慰問
（ＨＯＨ孤児院）

孤児院慰問
（ＨＯＨ孤児院）